



田中るみ子の活動レポート 12月議会報告

～誰もが生きやすいまちに～

みなさまのご意見、現場の声を
お聞かせください。
TEL・FAX：0940-37-0700
Email：munakata@fnet.gr.jp



メール用
QRコード



一般質問

生活に不可欠な公共交通の確保を

西鉄バスから市内の西鉄バス路線の廃止の申し出があったことがわかりました。コロナ禍による大幅な利用者減や大きな赤字、深刻な運転手不足が理由です。

全区間廃止とされる津屋崎～鐘崎線の中で、鐘崎・神湊地区と東郷駅や赤間駅を結ぶ路線は通勤・通学や買い物・病院通いなどのために多くの市民が利用しており、西鉄バス沿線地域の方からは、不安やなくなると困るという声が寄せられました。

いつ市民に伝えた？

市が西鉄バスの廃止を聞いたのは5月でした。7月には公共交通会議で、10月には各地域の自治会長会などで説明したとの回答でした。

バス通学の小・中学生は？

西鉄バスを利用して通学している小・中学生はいますが、「通学は原則徒歩か自転車なので、教育委員会としてスクールバスなどの導入は考えていない」という回答でした。

今後の公共交通は

市は昨年12月に「宗像市公共交通利便増進実施計画」を作成しました。それに基づき新しい公共交通ネットワーク作りを進めることになっています。

バス路線の廃止などの公共交通に関する情報は早めに市民に伝え、代替交通をどうするのか一緒に話し合う場が必要です。

西鉄バス廃止後の交通手段を市が検討しており、利用できる交通手段があるとわかれば市民は安心します。市民に対して、何回も説明会を開くなど丁寧に進め、市民が生活に困らないように利用しやすい交通手段づくりを進めることを要望しました。

地域公共交通アンケート調査を実施

今回、この問題に関連して市は地域公共交通の見直しに関するアンケート調査を行いました。アンケート調査のことは広報紙や回覧板で知らされました。しかし、アンケートに気づいた市民は少なく、回答数は348件でした。

西鉄バス路線の廃止の申し出を受けてのアンケートだという説明があったほうが関心を持つ人が多かったのではと考えます。

また、住んでいる地域からJRの駅を利用している市民は多くいます。駅にアンケートを呼びかけるポスターの掲示とアンケート用紙と回収箱を設置することなど工夫が必要だったのでは、と意見をしました。



注目の議案

市長等の特別職と議員の期末手当(ボーナス)の増額に反対!

2024年もこれまで以上の物価高騰が続き、多くの市民は生活費のやり繰りに苦労しています。特に収入の低い人、非正規雇用者やひとり親の女性、また、若い世代の収入も増えていません。さらに、年金に頼っている高齢者からも生活が苦しいという声が多いです。そのような中で国民の平均年収と比べて市長等の給与や本市の議員報酬約710万円は高額であり、人事院勧告に基づく引き上げですが、市民の理解が得られないと考え、反対しました。

自走式トイレカーの購入に賛成!

大規模災害等による断水時にも衛生的で安全なトラックサイズの自走式トイレカーを1台購入します。男女別トイレのほかに、おむつ交換台、ベビーキープやオストメイトに対応した多目的トイレもあり、車椅子でも利用できるよう昇降リフトを備えています。

普段は市のイベントでの活用も検討しています。



イメージ写真

議員となって2か月がたちました。当たり前ですが、見ることも聞くことも全てが初めての経験でした。議員バッジを受け取ったときは身が引き締まる思いでした。

議会では、「異議無し」や「エンカイ(延会)」など普通の生活では使わない言葉や、漢字すら思いつかない独特の言葉が使われていると気づきました。

12月議会の会期は21日間でした。実際は一般質問の準備や事前の資料の読み込みなど、想像以上に多忙でした。

議会傍聴で今まで見てきたこと、実際に議員として議場での立ち振る舞いは大違いでした。賛否のボタンを押すときはとても緊張しました。

自分の生活にかかわることが議会で決められていると再認識しました。

初議会を終えて

田中るみ子

